

戦略の位置づけ、期間

- 人口ビジョンを踏まえ、人口減少の克服と地方創生に重点を置く計画として、今後5ヵ年（平成27～31年度）の目標、方向性、具体的施策をまとめたものです。

4つの基本戦略と主な施策

- 人口減少の克服に向けて、「出生率の向上」と「若い世代の転出抑制および転入促進」が重要です。
- 本庄市に住んで、仕事を持ち、家庭を築き、生き生きと暮らし続けることのできる、「次の時代につながるまち～世のため、後のため～」を全体目標としました。
- 4つの基本戦略のもと、「しごと」、「ひと」、「まち」、「魅力創造」の各面からまちの好循環を支え、全体目標の実現を目指します。

① 企業と働く人がともに輝けるまち 【しごと】

【目標】就業者数4万人維持

1. 地域産業の活性化
2. 働く人にやさしいまち、仕事も子育ても充実した社会

- 企業誘致の推進（産業業務拠点整備の検討）
- 農業の振興
- 商工業の振興
- 若者を中心とした創業支援
- 女性の就業支援
- ワーク・ライフ・バランスの推進



② 安心して子どもを生み育てるまち 【ひと】

【目標】合計特殊出生率1.35に

1. ひとりひとりのニーズに応える丁寧な子育て支援
2. 安全・安心、笑顔溢れる子育てタウンを目指して
3. 支え合い、ともに育つまち

- 出会いの創出
- 保育サービスの充実
- 24時間対応の健康相談ダイヤルの設置
- 大学附属病院等の誘致の検討
- 地域を牽引する人材の育成
- 多世代連携による子ども達への支援



次の時代につながるまち ～世のため、後のため～

③ 多様な世代による子育て参加で いつまでも住み続けたい、住みたくなるまち 【まち】

【目標】若者の転出超過を1/4に

1. 協働でつくる子育て支援のまち、持続可能なまち
2. 全ての世代にやさしいまち

- 駅周辺等の整備
- 空き家対策の推進
- 交通安全・防犯活動の推進
- 子育て世代のニーズに応える公園施設の充実
- 多世代同居・近居の推進
- バリアフリーの推進



④ 歴史と文化と若い力による 訪れたくなるまち 【魅力創造】

【目標】観光入込客数65万人に

1. 若い力の活用によるまちの魅力の向上
2. 情報発信の充実によるまちの魅力の認知拡大

- 観光拠点の整備
- 観光の推進
- 高校生による地域の活性化
- 世代間交流事業
- UIJターンの促進
- 新幹線の活用



戦略の推進に向けて

- 総合戦略を着実に推進するために、戦略・各施策ごとの具体的な数値目標をもとに、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）による進捗管理を行います。
- PDCAサイクルには、市民団体をはじめ産業、教育、金融など各方面の専門家の皆様にもご参加いただき、官民一体となり、客観的かつ市民目線での事業推進・評価を行う予定にしています。

本庄市 人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略



策定にあたって

この人口ビジョンと総合戦略は、平成27年1月から平成28年3月にかけて、多く市民の皆様とともに策定しました。

主な会議等

・経済界・市民団体等との懇談会	4回
・創生ワークショップ	1回
・市議会との意見交換会	3回
・子育て世代の女性会議	3回
・本庄市役所創生本部会議	11回
・市民アンケート	5種類

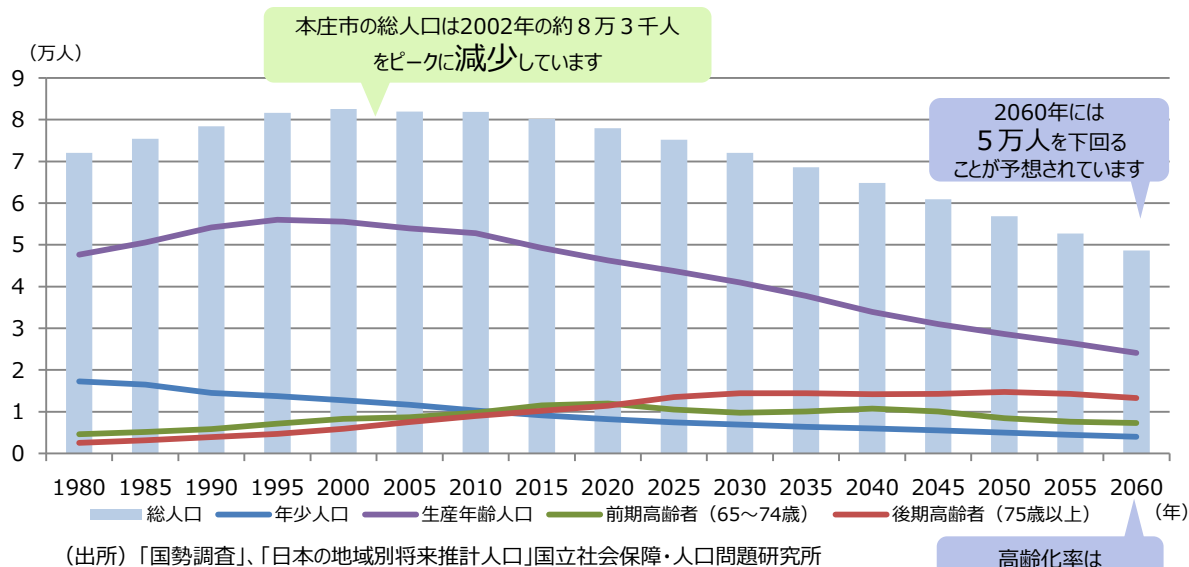
〔結婚・出産・子育て、転入、就業、高校生、事業者〕

平成28年3月
本庄市



2060年に5万人半ばの人口を確保するために

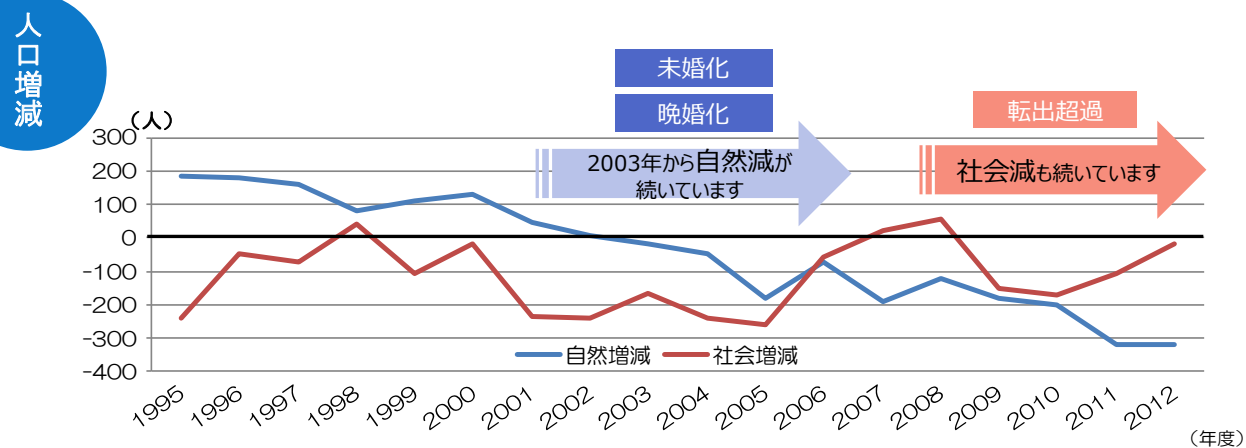
1. 人口動向と将来の見通し（人口減少と少子高齢化）



このままだと ▶▶▶ 地域経済の縮小・公共サービスの低下・地域コミュニティの衰退

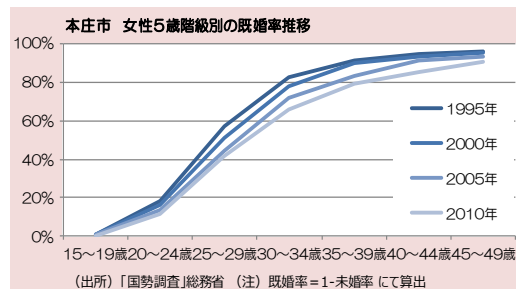


2. 人口減少の要因（自然減と社会減）



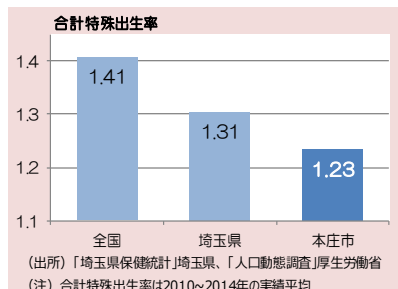
既婚率

20代後半から30代の既婚率が大幅に低下しています



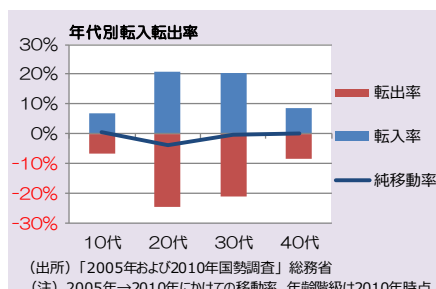
合計特殊出生率

全国、埼玉県平均より低い状態です



転入・転出率

進学・就職を機に10代後半から20代にかけての転出が目立ちます

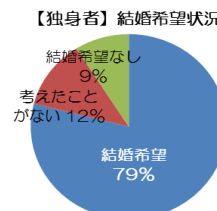


～本庄市人口ビジョンの概要～

3. 市民の希望（結婚・出産・子育て） 市民アンケートから

結婚

独身者の79%が結婚したい

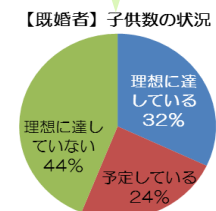


なぜ独身？

経済的理由、出会いがない

出産

既婚者の理想の子ども数2.47人
未達成44%

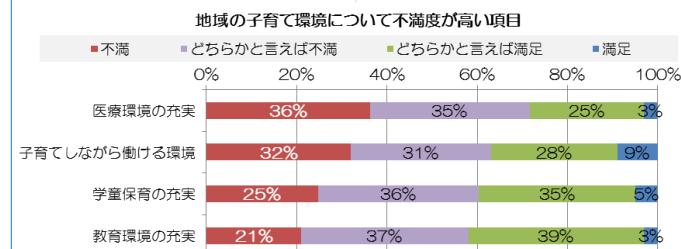


なぜ理想に達しない？

経済的理由、仕事と子育ての両立、子育て環境

子育て

子育て環境で不満が高いのは！



ここが不満！

医療環境、子育てしながら働ける環境、学童保育



4. 人口の将来展望

■ 市民の結婚・出産・子育ての希望を叶え、若い世代の転出抑制・転入促進を図ることで、人口減少に歯止めをかけます。

自然減の抑制に向けた目標

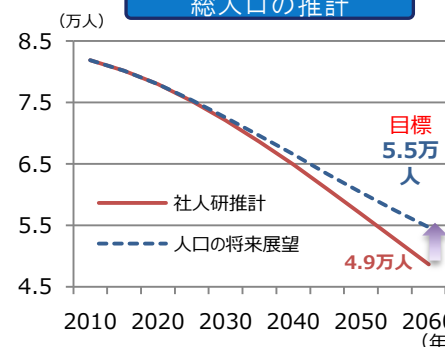
- ① 2040年までに、合計特殊出生率 1.81
- ② 2060年までに、合計特殊出生率 2.08

社会減の抑制に向けた目標

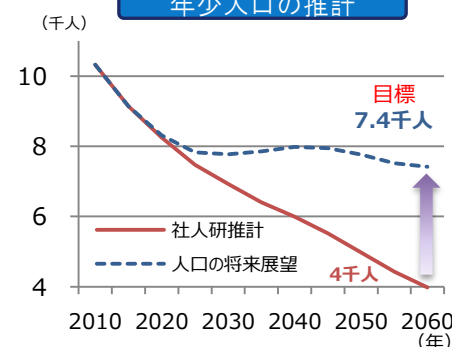
- ③ 2030年までに、全世代で人口の移動均衡（特に若い世代の転出抑制、転入促進を図る）

2060年に5万人半ばの人口を確保、年少人口を安定化して高齢化率のピークを40%未満に

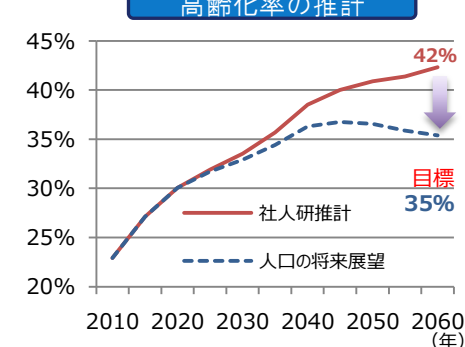
総人口の推計



年少人口の推計



高齢化率の推計



人口ビジョンの実現に向けた本庄市地方創生のテーマ

- ①雇用の確保
- ②仕事と子育ての両立
- ③出産・子育てに適したまちづくり
- ④子育て環境の更なる改善
- ⑤住環境の整備や地域コミュニティの振興
- ⑥魅力あるまちづくり

